

## 頑張れそら組！！

リレーではそら組は黄色チームと青チームに分かれます。各チームに分かれて走る順番を本格的に決めはじめました。

### 黄色チームでは



A君速いから一番がいいと思う

A君1番なら速くバトンもらえるし、僕2番に走りたい。

アンカーはM君がいいんじゃない？

ええ…、僕はR君がいいと思う。

どうしたら勝てるとかちゃんと考えているんだな。負けて悔しい経験をしたから自分たちが決めた順番で勝るといいな。

AちゃんがアンカーにM君を推薦してくれたけど、M君くんはちょっと嫌そうだな…後で話をしてM君の気持ちを聞いてみよう。

じゃあ、今日はR君おやすみだから明日アンカーだけ決めたら？

「〇番に走りたい」と走る順番がすぐに決まった黄色チーム。しかし、この日アンカーは決まりませんでした。翌日、友だちからアンカーに推薦されているR君とM君に気持ちを聞いてみました。すると二人とも「だって、ほし組のアンカー早いから…負けるもん…」「負けたらどうするん？」と負けてしまうことに不安な様子でした。これまでR君もM君もアンカーを経験しているのでアンカーとしてのプレッシャーを感じているのだと思いました。今は二人の思いを受け止め、自信が持てるような環境を作ろうと思いました。頑張ってください。

### 青チームでは



僕1番に走りたい。

青チームの方が一人少ないから、僕が二回走りたい。

男の子がリードしているな。女の子は不満がある様子もなく、男の子の話に賛成している。一人一人に意見を聞いてくれるY君がいるからか、上手くまとまった話し合いだな。男の子たち頼れるな。

Kちゃんは何番がいい？

アンカー走りたい。

### 9月29日(火) 月津こども園の遊戯室にて

#### 「子どもVS先生」

前日のままの気持ちでいるわけにはいかない。子ども達に自信を持って欲しいと思い、青チームvs黄色チームvs先生チームでリレーをしてみました。子ども達はやる気がみなぎり、「絶対勝つから」「先生走れるの？」なんて言っていました。走ってみると、先生チームは惨敗…(けっこう本気で走ったつもりですが…)「やったー。勝ったー」と子ども達は大喜び。普段リレーに乗り気ではないAちゃんが「もう一回したい」とやる気になり、アンカーを走ることに迷いや不安があったR君も「アンカーしたい」と言ってくれました。気持ちが盛り上がってきたことを感じ、もう一度3チームで走りました。またまた先生チームは惨敗…「よっしゃー」「先生おそーい」「今日のリレーは楽しかったー」と子ども達から嬉しい言葉が出てきました。昨日までは「もうしたくない」と言っていた子ども達ですが、この日のリレーをきっかけに自信が持てたように感じます。次のほし組とのリレーもがんばるぞー。

### 9月28日(月) 松陽地区体育館にて

#### 「もう勝てないのかな…」

ほし組の2チームを加えた4チームでリレーをしました。途中で間違えてコースアウトしてしまったことが悔しくて走ることを諦める子。4位になっていることが分かり、走ることを諦める子。そら組全体の雰囲気、諦めている空気が漂っていました。「リレーもう嫌だな」という言葉も聞かれ、保育教諭自身も悔しかったです。負けたことが悔しかったのではなく、子ども達が諦めてしまう事が悔しかった…。よし！子ども達の気持ちが盛り上がっていきけるように私たちも頑張ろう。

### 10月2日(金) 松陽地区体育館にて

#### 「自信が持てた日」

「今日リレーしたい」と子ども達から言ってきました。その言葉が嬉しくて「するよ。頑張ろうね」と声をかけました。黄色チームのR君が「今日もアンカーするわ」と言い、M君が「R君まかせた」と言うやり取りが。その時に子ども達に「一位になりたい気持ちはすごく分かる。だけど、本当の一位は負けていても最後まで諦めないで走る子だよ」と伝えました。絶対に諦めないでほしいという気持ちを込めて…。いざリレーが始まると、何と！黄色チームが初めての一位！！「やったー」「初めて一位になれたー」と大喜びの子ども達。そして二回目のリレーでは何と！！青チームが一位！もう嬉しくて、嬉しくて…子ども達が諦めないで頑張ったからだなと思うと涙が出てきました。子ども達の気持ちは最高潮な状態です。この気持ちを盛り上げたまま、本番を迎えられたらいいなと思っています。